

南小学校学校運営協議会

「ともに創る ともに楽しむ ともに育つ

コミュニティ・スクール南小学校」

1 コミュニティ・スクールの取組みを通して育てたい子供像

ふるさと、地域に誇りを持ち、社会、世界に羽ばたく人づくり、つまり、府中市の目指すグローバル人材の育成をねらいとしている。

2 学校の特色を生かした取組み

本校のCS組織の中に、「まなび部会」と「ふるさと部会」の2つの専門部会を設けている。「まなび部会」は様々な形で子どもの学習支援に取組み、「ふるさと部会」は、学校独自ではなかなかできにくい活動を充実させていくことに主眼をおいて取り組んでいる。

「ともに創る ともに楽しむ ともに育つ」
【南っ子フレンドフェスタ】

開校当時、「南小学校独自のものをつくりたい」「子ども達の体を鍛えたい」という保護者・地域の方の思いから、相撲場が造られた。山から木を伐り出し、様々な材料を集め、全て保護者・地域の方の手作りで造られたと聞いている。そんな多くの方の思いが詰まった相撲場で、毎年10月に「フレンドフェスタ」を開催し、多くの保護者・地域の方の応援の中、相撲大会やふれあい授業を行っている。

フレンドフェスタ開催前には、保護者・地域の方と学校で相撲場やその周辺の修繕・整備を行っている。これは、かなり大がかりな事業で、計画も大変、人手もお金もかかるため、学校だけでは解決できないところをCSとして行うことで、成り立っている。フレンドフェスタを運営するにあたり、PTAが中心となって会の準備や運営等を行っていたが、子ども達が会を



盛り上げたいと、準備・運営にも関わることになった。開校当時のPTA会長や先生から、相撲場の歴史や思いを聞いたり、地域の方からの思いや意見を聞いたりした。

それらを受けて「フレンドフェスタを盛り上げたい」と、児童が様々なアイデアを出し合い、地域の方と相談をしながら計画・準備を行っている。旗を作ったり、ふれあい席を設けたりした。また、フレンドフェスタ本番には、甚句や相撲場の歴史の劇を披露したり、相撲のデモンストレーションを行ったり、各学年の優勝者にインタビューをしたりして、会を盛り上げている。

また、ふれあい授業では、地域の方から、「ストラップ作り」「竹とんぼ・水鉄砲」「味噌作り」「どんぐり工作」「絵手紙」「裁縫」と多くのことを教わりながら、児童も保護者も交流を深めている。

昨年度は、開校40周年の節目の年だった。オープニングセレモニーの全校合唱では、CS会長の指揮で、保護者・地域・児童と一緒に「ふるさと」を歌った。開校40周年記念の航空写真を撮るために、地域の方が事前準備をしてくださったり、呼びかけをしてくださったりして、多くの方に参加していただき、会を大いに盛り上げることができた。そして、さらに保護者・地域・学校の結束を固めることができている。

「大人から学ぶ 大人と学ぶ 大人も学ぶ」

【CS読書会】 【昔のくらし体験】

地域の方や保護者の方を巻き込んだ「大人から学ぶ」「大人と学ぶ」「大人も学ぶ」活動を創りだそうと「CS読書会」を計画した。児童・保護者・地域の皆さんが、自分の考えを深めたり、他者の考えに触れたりする中で、本から学び、自分の生き方を見つめ直す機会になればと行っている。

第1回目は「ないた赤おに」の話で、「もし自分が赤鬼に相談されたら、どんな方法で解決するだろうか。」というテーマで話し合いを行った。図書館司書の先生が読み聞かせをした。

第2回目は「さいごのワシ」で「ワシは鉄格子にかみついて最後に何と言っただろうか。」というテーマで、意見交流を行った。この回では、児童も読み聞かせに参加をした。地域の読み聞かせボランティア「あすなるの会」の方も参加をしてくださった。大人も児童もたくさんの意見交流ができ、充実した読書会になった。まさしく「大人から学ぶ」「大人と学ぶ」「大人も学ぶ」活動となった。

(参加された地域の方の感想)

CS読書会に参加して

今回初めて参加させていただきました。大きな声の朗読に加え、電子黒板が使われており、とても分かりやすい読書会でした。

物語は、自然の生態系を壊す人間に対して動物の目線で警告しており、考えさせられる点が多い内容でした。意見交換では、子ども達の前向きで素直な発表内容が印象に残りました。今回の参加は、地域の方が目立ちましたが、保護者が増えれば更に盛り上がる読書会になると思います。次回も楽しみにしています。

3年生が社会科の学習「昔のくらし」の一環で、洗濯板を使った洗濯体験を行っている。ところが、洗濯板の傷みがひどく、使える洗濯板が少なく困っていた。それをCSの方々が、地域の企業に話し、板の材料を準備し、地域の高等学校にお願いをして板を作った。

そして、新しい洗濯板で洗濯体験を行うことができた。また、洗濯時に行っていた、水汲みを体験させてもらったり、昔のくらしの話をしてもらったりして、昔の人の工夫を体感することができた。



3 今後の方向性

コミュニティ・スクールになることで、学校・保護者・多くの地域の方に学校の支援者になっていただくことができた。また「大人から学ぶ」「大人と学ぶ」「大人も学ぶ」という視点で、学校・保護者・地域がつながる新たな活動を創り出すことができた。

保護者・地域の方への周知活動を積極的に行い、保護者の参加を増やすとともに、学校のニーズを学校運営協議会でしっかり協議し、学校に関わっていただける人材を増やしていきたい。

学習支援ボランティアや児童の地域貢献活動、環境整備活動等を推進しつつ、「大人から学ぶ」「大人と学ぶ」「大人も学ぶ」社会とつながるカリキュラム開発に重点を置き、関わるものすべてが学び・育つコミュニティ・スクールの推進に取り組んでいきたい。